

施政方針及び当初予算案

予算の説明に先立ちまして、令和5年度の町政運営に関する基本的な考えを申しあげた上で当初予算案と主要事業について御説明申し上げます。

令和4年度もコロナ禍の中で町民、町内事業者ともいつ終わるかわからない不安を抱えながらの生活となりました。新型コロナ第7波、第8波発生時には、町内においても感染が拡大し、小学校の学級閉鎖・保育園の休園などの措置をせざるえない状況となりました。

しかしながら、当町では、感染予防対策のため速やかに新型コロナウイルスワクチンの予防接種をすすめ、5回目の接種も昨年秋に終了しております。

国からは、令和5年5月8日に新型コロナウイルス感染症を感染症法上の分類において2類から5類に引き下げるとの方針が示されております。また3月13日からは「マスクは自己判断」と決定されました。今後は、ウィズ

コロナ、アフターコロナへ本格的に移行することが予想されます。それによって増加が見込まれる観光客受け入れ体制について本町では令和3・4年度から準備を進めております。

伊根町のまちづくりのバックボーンは「重要伝統的建造物群保存地区」、「日本で最も美しい村」「世界で最も美しい湾クラブ」であります。「景観条例」、「屋外広告物条例」によりこの町に磨きをかけ、5月23日から当町で開催される「世界で最も美しい村連合会総会2023」にて広く世界に発信したく思います。

再生可能エネルギーを活用した地域課題の解決や地域活性化に向けて、令和4年4月から、予約型乗合交通（通称：いねタク）の運行を開始いたしました。再生可能エネルギーを活用するEV車両を使用しており、令和4年度事業で、そのEV車に電源を供給する太陽光発電と蓄電設備の整備を行っています。

令和5年度からは、そこで創り出された再エネを使って、運行を行うこととなりますが、その効果検証と、更なる効

果的な運行の検討を行うための調査・分析を行います。

また、伊根町内のさらなる再生可能エネルギー電源開発の調査・検討を合わせて行います。

さらに、「いねタク」と「いねばん」の活用など、伊根町の再生可能エネルギーと地域交通の取組の周知を行うための、広報素材の作成を行います。事業費は、全額 経済産業省所管のエネルギー構造高度化・転換理解促進事業を活用します。

住民の利便性向上や環境意識の醸成につなげてまいります。

これまでから子育て支援については充実させてきていますが、令和5年度には「子育て日本一」のまちを目指し、子育て世代へのさらなる支援を行います。

保育所利用者の紙おむつを保育所で用意いたします。保護者の方は紙おむつに子供の名前を書いて持参する必要もなくなります。また、保育士は紙おむつの個別管理が不要となり労働環境の改善にもつなげることができます。

保育所に通っていない子どもの保護者には、年額3万円の育児支援金を支給します。

子育て環境の充実や物価高を踏まえ、子育て世代に対して切れ目のない支援を行い、「子育てしやすい・ええまち」の取り組みを進めてまいります。

産業振興では、前年度の伊根町産米ブランド化事業で選別と試行販売を行った伊根町産米のブランド化をさらに推進します。

具体的には、伊根町産米の調査分析・ブランド戦略・マーケティング調査、流通量や購買者特性の検証を行い、伊根町産米の特産品化・ブランド化を図ります。

他産地との差別化を図りブランド化することで、高付加価値の高い農産物を販売し、持続可能な農業振興につなげてまいります。

公共工事を推進していくうえで建設発生土の処分については全国的な課題となっているところです。

当町では、平成23年度から現在の残土処分場の運用を開始していましたが、残余容量も少なくなってきたことから令和2年度から次期処分場の開設のために用地交渉や事務的整理を行い、前年度には測量調査や用地取得を行

っております。

令和5年度は、防災調整池を設置する工事を行います。残土処分場の受入れが途切れることなく、適切な処理地を確保することで、災害発生時の迅速な対応や公共工事の円滑な施工を確保することにつなげてまいります。

令和5年度の各主要事業によって地域の皆様の暮らしと安心安全をすすめ、また、コロナ禍で疲弊した地域経済と社会活動を支え、「ええまち・伊根町」の実現に向けた取り組みを推進してまいります。

それでは、当初予算の提案説明に戻らせていただきます。

予算書1ページを御覧ください。また、別刷の令和5年度伊根町当初予算(案)の3ページを併せてご覧ください。

歳入歳出予算の総額は、34億7,600万円で、前年度と比較しますと、2億4,400万円 7.5%の増額です。

それでは歳入から説明いたします。一般会計は事項別明細書に詳細がございますのでそちらをご覧ください。

12、13ページをお願いします。

町民税は、6,847万5千円で、前年比113万9千円の減額

です。固定資産税は、7,436万円で、前年比412万4千円の増額です。町税全体では358万円、2.3%の増額です。

14、15ページを御覧ください。

地方交付税は、15億9,200万円で、7,200万円の増額を見込みました。地方財政計画における地方交付税総額は、0.3兆円、1.7%の増となり、また、臨時財政対策債の抑制、本町の過疎債償還額の伸びを勘案した上、一定の留保財源の確保も含めてこの額といたしました。

16、17ページを御覧ください。

分担金及び負担金は、全体で828万2千円です。前年比74万4千円、9.9%の増となっています。

使用料及び手数料では、総額1億2,879万円で、前年比2,263万9千円の増額です。増額の要因は公共残土処分場使用料の伸びによるものです。

18、19ページを御覧ください。

国庫支出金は、2億5,325万円、前年比1億7,727万7千円、41.2%の減額です。エネルギー構造高度化・転換理解促進事業補助金の減額などによるものです。

20、21ページを御覧ください。

府支出金は、2億3,636万2千円、前年比1,683万2千円、7.7%の増額です。子育てにやさしいまちづくりモデル事業補助金などによるものです。

26、27ページを御覧ください。

財産収入は、1,234万4千円、前年比614万6千円、99.2%の増額で、基金の運用方法を見直して利回りが向上したものです。

寄附金は、1,880万円で、前年比50万円、2.7%の増額です。

繰入金は、4億3,676万6千円、前年比1億1,778万7千円、36.9%の増額です。起債償還分の減災基金繰入のほか、公共事業財源として残土処分場管理基金からの繰り入れを行うものです。

28、29ページを御覧ください。

繰越金は、2,000万円で前年度同額です。

諸収入は、3,625万4千円、前年比296万8千円、8.9%の増額で宮津与謝環境組合事務費の増額などによるものです。

30、31ページを御覧ください。

町債は、5億610万円、前年比1億7,620万円、53.4%の増額で、公共残土処分場建設によるものです。

自動車取得税交付金は、1千円の計上です。

次に歳出です。 32,33ページを御覧ください。

別刷りの方は、2ページを御覧ください。

議会費は、4,498万3千円、前年比71万6千円、1.6%の増額。

続きまして、総務費です。34,35ページを御覧ください。
総務費全体では、5億658万8千円、前年比1億7,747万8千円、25.9%の減額です。

40、41ページを御覧ください。

企画費が、前年比1億7,166万7千円の減額です。主な理由は再生可能性エネルギー活用型地域振興事業の減額によるものです。

60、61ページを御覧ください。

次に民生費ですが、5億6,361万9千円 前年比74万1千円 0.1%の減額です。

敬老事業（敬老会）は、コロナ禍の中で密を避けるため令和2年度から昨年まで3年連続で中止せざるをえませんでした。現在では感染も落ち着いてきており令和5年5月には第5類への見直しが行われます。令和5年度は開催できると期待しております。

78、79ページをお願いします。

衛生費は、2億3,490万8千円 前年比 3,835万6千円14.0%の減額です。

保健センター空調設備の更新の完了によるものです。

84、85ページをお願いします。

清掃費では、前年比723万2千円の減額です。

埋め立て処分場の高圧外線取替工事等の完了によるものです。

90、91ページをお願いします。

農林水産業費は、4億7,260万2千円で、前年比4,407万4千円 10.3%の増額です。

農業関係では、農業費で、前年比1,471万9千円の増額です。

92、93ページを御覧ください。

農業振興費で、「伊根町産米ブランディング事業」 (委

託料783万円に含む)、農地費で「野村地区の農道改良工事」を実施いたします。

94、95ページを御覧ください。

林業関係では、林業振興費で、前年比154万3千円の増額です。有害鳥獣対策として侵入防止柵を新たに購入し設置希望のある各農地組合に配布するものです。

96、97ページを御覧ください。

水産業費は、前年比3,152万4千円の増額です。

98、99ページを御覧ください。

海岸保全費の海岸保全施設管理事業で、海岸保全施設保全計画に基づき、老朽化した海岸保全施設の補修等を行います（浦嶋漁港離岸堤）。

次に商工費です。

1億1,485万7千円で、前年比898万6千円、8.5%の増額です。

観光費で、コロナ禍で作成を延期しておりました観光ポスターの作成、連休期間（追加で8月から10月の土日も実施）における平田地区の渋滞緩和対策に係る交通誘導員設置費が増額の主なものです。

104、105ページを御覧ください。

土木費は、5億4,640万2千円 前年比2億5,029万4千円、84.5%の増額です。

土木総務費が、前年比1億9,722万7千円の増額です。

106、107ページを御覧ください。

残土処分場管理事業で、第2処分場の運用開始に向け、防災調整池を新たに設置するものです。

108、109ページをご覧ください。

道路橋りょう費が、前年比5,948万2千円の増額です。

道路維持費の町道管理事業では、道路メンテナンス事業補助金を活用しながら、亀島本庄浜線常世橋、のろせ橋の改修、そのほか地域から要望があった長延上地線、寺領線、峠越山線などの改修工事を実施いたします。

110、111ページをご覧ください。

道路新設改良費では、継続の亀島本庄浜線（野室本庄浜間）法面防災工事と、同線野室地区の法面防災工事などを実施します。

112、113ページを御覧ください。

消防費です。1億744万4千円、前年比924万3千円、9.4%の増額です。

114、115ページを御覧ください。

非常備消防費の消防設備維持管理事業で、消防車両更新計画に基づき、多機能型小型動力付ポンプ積載車（軽自動車）を新たに購入し、第1分団第4部に配属するものです。

116、117ページを御覧ください。

教育費は、3億6,611万7千円 前年比1億646万5千円41.0%の増額です。

教育総務費で前年比975万9千円の増額です。

主な増額要因は、職員配置の変更と学校のICT支援員分の計上によるものです。

小学校費、中学校費では、物価高騰を受けた給食費、電気代を増額しています。

134、135ページを御覧ください。

社会教育施設費で前年比1億728万6千円の増額です。伊根町コミュニティセンターほっと館空調設備改修工事、現在平田地区に建設中の文化振興・多世代交流施設管理運営費の計上によるものです。

140、141ページを御覧ください。

公債費は、5億1,429万8千円で、前年比4,082万6千円8.6%の増額です。

予備費は、418万2千円を計上しました。

議案第3号

令和5年度伊根町国民健康保険特別会計予算 です。
149ページをご覧ください。以後の特別会計の総額は、別刷りの1ページを御覧ください。

なお、特別会計は総額と主なもののみの説明とさせていただきます。

事業勘定の歳入歳出予算の総額は、3億8,085万8千円で、前年比4,103万4千円 12.1%の増額です。

伊根診療所勘定の歳入歳出総額は、8,578万円で、前年比2,653万7千円 23.6%の減額です。

本庄診療所勘定は、歳入歳出総額は、5,869万2千円で、前年比698万2千円 10.6%の減額です。

150、151ページを御覧ください。

事業勘定は、財政運営主体である京都府からの通知額をもとに、医療分は財政調整基金を活用した前年据え置き、後期高齢者支援金分と介護納付金分は、府からの通知に基

づいた額を想定しております。

次に伊根診療所勘定です。

いずれの診療所も新型コロナウイルス感染症予防のため慢性疾患の患者には長期処方を行っていることから歳入で診療収入が減額となっています。

178、179ページを御覧ください。事項別明細の総括表で説明いたします。

歳入では、11款 町債が減額となっています。前年度は、空調設備改修工事の財源として計上していたものです。

180、181ページをお願いします。歳出では、1款 総務費が減額となっています。空調設備改修工事の完了により2,532万6千円の減額となっています。

続きまして、本庄診療所勘定です。

194、195ページをご覧ください。歳入です。

11款 町債の減額は、前年度は、往診車整備の財源として計上していたものです。

196、197ページをご覧ください。

1款 総務費の減額は、往診車整備の完了や職員人件費の減額（常勤職員→再任用）によるものです。

議案第4号

令和5年度伊根町簡易水道特別会計予算 です。

209ページをご覧ください。

歳入歳出予算の総額は、それぞれ1億6,210万円 で、前年比1,539万5千円 10.5%の増額です。

214、215ページを御覧ください。

歳入では、前年度に引き続き、朝妻地区で集落環境整備事業（送水管敷設替え）を継続実施するため、4款 府支出金と8款 町債を計上しています。

216、217ページを御覧ください。歳出です。

2款 衛生費 で、伊根中央簡水の送水管敷設替え事業を計上しています。事業個所は、主に井室・大原地内の区間で長寿命化計画に基づき耐震化を兼ねて実施します。

議案第5号

令和5年度伊根町下水道事業特別会計予算 です。

229ページをご覧ください。歳入歳出予算の総額は、それぞれ1億4,010万円で、前年比 792万9千円 6.0%の増額です。

234、235ページを御覧ください。歳入は、6款 繰入金

が450万1千円の増額となっておりますが、公債費の増額に伴う繰入金の増によるものです。

236、237ページを御覧ください。

歳出です。主な増額は、1款 総務費で、施設の電気代の増額によるものです。また、3款 公債費で、歳入でも申し上げましたが、公債費の増額によるものです。

議案第6号 令和5年度伊根町財産区特別会計予算 です。

249ページをご覧ください。歳入歳出予算の総額は、それぞれ91万円で、前年同額です。

議案第7号

令和5年度伊根町介護保険特別会計予算 です。

261ページをご覧ください。

保険事業勘定の歳入歳出予算総額は、それぞれ4億5,690万円で、前年比756万1千円 1.6%の減額です。

介護サービス事業勘定の歳入歳出予算総額は、それぞれ136万1千円で、前年比10万9千円 7.4%の減額です。

264、265ページをご覧ください。

歳入は、歳出見込みに対する財源を法令に基づき積算したものです。

266、267ページの歳出は、被保険者数や前年度給付実績見込み等に基づいた給付費を計上しています。直近の実績見込みを反映させるなどして実際の給付額に近い予算となるよう積算いたしました。

296、297ページをご覧ください。

介護サービス事業勘定は、歳入として見込めるケアプランの作成業務をサービス収入に計上し、次のページの歳出では、1款 総務費でケアプラン作成に係る人件費などのほか、2款 事業費でケアプランを外部委託する経費を計上しています。

議案第8号

令和5年度伊根町訪問看護事業特別会計予算 です。

307ページをご覧ください。歳入歳出予算の総額は、それぞれ2,620万円で、前年比102万3千円、3.8%の減額です。

歳入、歳出ともに概ね前年並みの予算計上で、前年度と同

規模の訪問看護サービスの提供を計画しています。

議案第9号

令和5年度伊根町後期高齢者医療特別会計予算 です。
321ページをご覧ください。

歳入歳出予算の総額は、それぞれ 4,352万2千円 で、
前年比238万1千円 5.2%の減額です。

後期高齢者医療特別会計においても、前年度と概ね同様の歳入歳出を計画しております。

令和5年度も第6次総合計画の目標達成に向けて、今あるものを最大限に活用するためのしくみづくりを主眼にした事業を進め「ひと・まち・くらし・しごと」の全てが輝く「ええまち・伊根町」の実現に向け頑張ります。

議員各位をはじめ、町民の皆様のなお一層の御理解と御支援、御協力を心からお願い申し上げまして、私の施政方針と当初予算の提案説明とさせていただきます。